

2022年4月からの

2級

では、
こんな問題が出題されます！！

2022年度からの出題内容の改定により、このような問題が出題されるようになります。
新しい学習内容なので、テキストなどで、しっかり勉強しておきましょう！！

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 契 約 負 債 契 約 資 産 仕 掛 品
契 約 負 債 契 約 資 産 仕 掛 品
役 務 原 価 返 金 負 債 売 送 上 費 役 務 収 益

契約負債 商品やサービスの提供前に受け取った対価の処理 (有償の延長保証の代金なども含む)

当社は資格試験の受験指導を行っているが、本日、来月から開講するA講座の受講料の全額 ¥1,960,000 を現金で受け取った。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現 金	1,960,000	契 約 負 債	1,960,000

Point

役務（本問では受験指導の講座）を提供している企業において、役務提供の前に対価を受け取っている場合、契約負債の増加として処理します（前受金の増加として処理する場合もあります）。

当社は資格試験の受験指導を行っているが、当期末の決算において、A講座について役務収益を計上する。A講座の受講料の全額 ¥1,960,000 は、当期中にあらかじめ受け取っており、決算日現在この講座全体の5分の4の授業が終了している。また、A講座に関わる原価は仕掛品勘定に記帳されており、終了した授業に関わる原価は ¥1,015,000 であった。

借方科目	金額	貸方科目	金額
契 約 負 債	1,568,000	役 務 収 益	1,568,000
役 務 原 価	1,015,000	仕 掛 品	1,015,000

Point

役務（本問では受験指導の講座）を提供している企業では、当期末までに役務提供が完了している分に対応する役務収益を計上し、すでに役務の対価全額を受け取っている場合には、役務提供完了分を契約負債の減少として処理します。

$$\text{役務収益} : \text{¥}1,960,000 \times \frac{4}{5} = \text{¥}1,568,000$$

また、役務提供の原価を仕掛品勘定に記録している場合には、役務提供完了分の原価を役務原価勘定に振り替えます。

★ 無償で付帯する商品の品質保証は、今まで通り「商品保証引当金」で処理します。

返金負債 売上割戻などで顧客に対する請求金額から控除する可能性がある金額（リベート）を処理

当社は、一定の期間内に一定金額以上の購入があった顧客に対してリベート（売上割戻）を行っている。甲社に対し、商品 ¥490,000 を掛けて売り上げた。この販売金額のうち、返金する可能性が高いリベートを ¥4,900 と見積もった。この ¥4,900 については、取引価格に含めないものとする。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売 掛 金	490,000	売 上	485,100
		返 金 負 債	4,900

売上：¥490,000－¥4,900＝¥485,100

甲社に対して、¥4,900 のリベート（売上割戻）を実施する要件を満たしていることが判明したので、甲社に対する売掛金から控除した。

借方科目	金額	貸方科目	金額
返 金 負 債	4,900	売 掛 金	4,900

Point

リベートの見積額¥4,900 は変動対価に該当し、販売金額のうち、返金する可能性が高いと見積もられる金額については、取引価格（売上）に含めず返金負債として処理します。

Point

返金負債とは、顧客に返金する義務を負債として計上したものです。リベートの支払い時、または売掛金と相殺した時などに返金負債を減少させます。

契約負債 収益の計上のタイミングが異なる複数の取引を処理（複数の履行義務の充足）

当期首に、甲社に対して商品と、商品に係る保守サービスを合わせて ¥16,800 で販売し、現金を受け取った。なお、商品 ¥14,000 は引き渡し済であり、残額は今後4年間の保守サービスの金額を前受けしたものである。

借方科目	金額	貸方科目	金額
現 金	16,800	売 上	14,000
		契 約 負 債	2,800

契約負債：¥16,800－¥14,000＝¥2,800

当期末の決算となり、当期首に結んだ甲社との契約について、当期分の保守サービスの収益計上（役務収益勘定を用いる）を行う。

借方科目	金額	貸方科目	金額
契 約 負 債	700	役 務 収 益	700

役務収益：¥2,800÷4年＝¥700

Point

履行義務が充足されたときに収益が認識されるため、1つの取引の中に異なる履行義務が含まれている場合は、分けて処理します。
 ①商品の販売：一時点で充足される履行義務
 ⇒ 収益を認識する
 ②4年間の保守サービスの販売：一定期間（4年間）にわたって充足される履行義務
 ⇒ サービス提供前に受け取った対価を契約負債勘定で処理する

Point

4年間の保守サービスの販売のうち、1年間のサービスが提供され、1年分の履行義務が充足されたため、その分の収益を認識し、契約負債を減少させます。

★ 仕訳する取引のうち、商品やサービスを引き渡し（履行義務を充足し）、収益を計上する分は「売上」や「役務収益」などで処理し、商品やサービスの提供前に、代金を先に受け取った分は、「契約負債」で処理します。

契約資産

すべての履行義務を充足して、はじめて代金の請求ができる取引の処理 (複数の履行義務の充足)

当社はオフィス用品の販売を行っているが、本日、事務机 20 台 (@ ¥35,000) と椅子 20 脚 (@ ¥21,000) を得意先の乙社へ販売する契約を締結した。先行して事務机 20 台を先方へ引き渡したが、代金は椅子を含めたすべての商品を引き渡した後に請求することとなっているため、事務机の代金についてはまだ顧客に対する債権とはなっていない。ただし、事務机の引き渡しと、椅子の引き渡しは、それぞれ独立した履行義務として識別する。

借方科目	金額	貸方科目	金額
契約資産	700,000	売上	700,000

Point

事務机 20 台の引き渡しと椅子 20 脚の引き渡しという、複数の履行義務を含む販売契約を結び、履行義務ごとに収益を計上するが、債権(売掛金)はすべての履行義務の充足後に認識するという契約の処理は、債権を認識しない段階における収益の計上を契約資産勘定(資産)で処理します。

上記の取引の1週間後、販売契約のうち、残りの椅子 20 脚を乙社に引き渡した。当該契約の代金は、今月末に一括してA社に請求書を送付することになっている。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金	1,120,000	売上	420,000
		契約資産	700,000

売掛金：¥420,000 + ¥700,000 = ¥1,120,000

Point

すべての履行義務を充足して債権が認識されたので、売掛金を計上します。椅子の引き渡しについては、収益を計上し、先行して引き渡していた事務机の代金については、売上時に計上していた契約資産勘定の減少として処理します。

- ★ すべての履行義務を充足した時に、代金を請求するという契約のうち、販売する商品の一部分のみを引き渡し、部分的に履行義務を充足した場合は、まだ売掛金などが認識されないため、「売上」の相手勘定を「契約資産」で処理します。

商品販売時に売手が送料を支払った場合の処理 (3級の出題範囲の変更)

本問のように得意先負担の送料を扱う仕訳が、日本商工会議所の試験出題区分表などの改定のさいに、仕訳例として公表されました。

長野商店に、商品 ¥70,000 の販売と送付を1つの履行義務として、送料 ¥1,400 を含めた ¥71,400 で掛け売上の処理をした。また、商品の発送時に、配送業者に送料 ¥1,400 を現金で支払い、費用として処理した。

借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金	71,400	売上	71,400
発送費	1,400	現金	1,400

Point

商品の提供及び配送を1つの履行義務として処理するため、送料分として受け取る¥1,400も売上に含めます。また、送料は、費用として処理します。

- ★ 送料は必ず、売り手側(送る側)が費用科目で処理しますが、買い手側が実質的に送料を負担する場合は、売り手側は、買い手側から受け取る送料の金額を売上の金額に含める処理をします。今までの3級で学習した処理とはまったく違いますので注意して下さい!

日商簿記2級【出題区分改定論点セミナー】配信中!

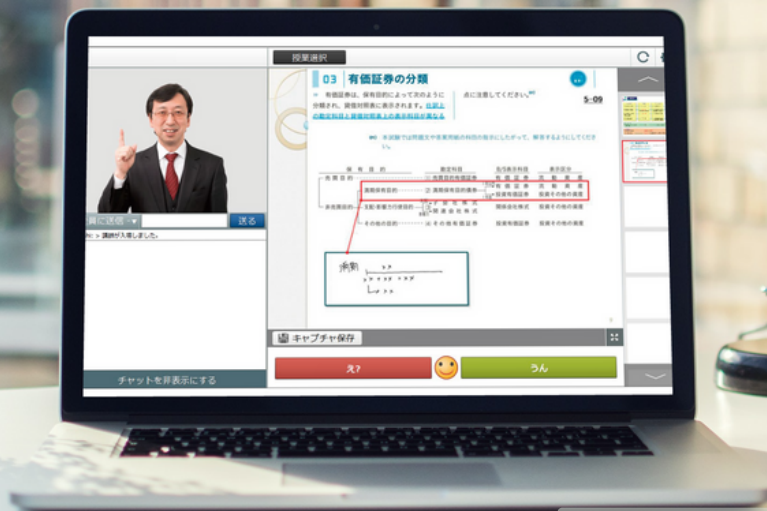
「とおるテキスト」の著者でもある桑原先生が、このレジュメで取り扱っている日商簿記2級での変更点についてわかりやすく解説した動画を、ネットスクール公式YouTubeチャンネルにて配信中です。

QRコードによるリンクはこちら→





Net-School



※この画面ははめ込み合成したものです

日商簿記2級・3級対策 WEB講座

 統一試験 &  ネット試験 対応



分かりやすい講義

書籍だけでは伝えきれないポイントや解き方なども、動画や音声加わることで理解しやすくなります。



安心の質問サポート

疑問や不安が生じても、受講生専用SNS「学び舎」などを通じて万全のフォロー。



どこでも受講可能

講義はインターネットで配信。ネット環境と端末さえあれば、いつでもどこでも受講可能です。



担当講師
桑原知之

随時実施のネット試験に合わせた速修コースも開講！

ネット試験（CBT方式）は試験会場ごとに実施日時が設定されており、会場によっては毎日のように受験が可能です。年3回の統一試験の試験日ではなく、ネット試験に合わせて学習できる「速修コース」も開講中です。



WEB講座の詳細・最新情報はネットスクールホームページへ
<https://www.net-school.co.jp/>



ご案内

テキストと問題集で、しっかり学びたい方へ

<p>日商簿記2級 とおるテキスト 商業簿記【第3版】</p>	<p>日商簿記2級とおる トレーニング 商業簿記【第3版】</p>	<p>日商簿記2級とおる テキスト工業簿記 【第2版】</p>	<p>日商簿記2級とおる トレーニング 工業簿記【第2版】</p>

<p>サクッとわかる 日商2級商業簿記 テキスト【第2版】</p>	<p>サクッとわかる 日商2級工業簿記 テキスト【第2版】</p>	<p>サクッとわかる 日商2級 商業簿記・工業簿記 トレーニング</p>